

市政おおの

57. 5. 1
No. 360



恥ずかしく
ありませんか

そのポイ捨て

「これも私の仕事ですけど……、それにしてもよく集まるもんですね。すぐそばにごみかごがあっても、ベンチの上に置き去りにしたり溝にポイですからな」と、有終会館に勤務する北川さんは、きょうも市民グラウンドの空き缶を拾いながら話しています。あなたにはこんな覚えがありませんか。許されませんよ、ポイ捨ては。

税金を食べている“ごみ”

生活が高度になり便利になるにつれて、家庭から出されるごみも多種多様になるとともに、その量も多くなってきています。ごみを収集し、快適な環境づくりに努めることは市の大事な仕事です。しかし、それには市民のみなさん1人ひとりの理解と協力がなければ出来ません。今月は私たちと切っても切れない「ごみ」にスポットを当ててみました。



貯蔵庫から焼却炉へごみを運ぶクレーン

処理に1億5,000万円

節減にはみんなの力が

市では現在21人の収集作業員と7台の収集車でごみを収集しています。

町部では燃えるごみを週2回、燃えないごみを1回、村部では燃えるごみ、燃えないごみともに週1回(村部の燃えないごみ収集は業者に委託)集めています。

燃えるごみは1日およそ25ト、燃えないごみはおよそ7トが連日東大月の清掃センターに運び込まれます。

家庭から出されるごみの量も年々増える傾向にあり、1年間では1世帯当たりの燃えるごみが約600キロ、燃えないごみが約200キロにもなります。

ステーションのごみは市が集めますが、決してタダではありません。

「ごみ処理は市役所の責任だから」という安易な気持ちで、分別をしなかったり、ヒモで結ばずに出しますとそれだけ多くの経費がかかります。

56年度にはごみ処理に使われた経費は1億5,000万円余りにも上ります。これは小学校の体育館を建てる事が出来るくらいの金額で、1世帯当たりでみると約1万4,000円、

1人当たりでは約3,500円が支払われていることになります。

分別は完全に

生ごみは 一晩の水切りを

これまで機会あるごとにごみの出し方について、再三市民のみなさんに協力をお願いしてきましたが、残念なことにまだ守っていただけない方が多いのです。

一番困るのは、燃えるごみと燃えないごみの分別がしてないことです。

これは、作業員のケガや機械類の破損の原因になりますから、絶対に

守って下さい。

これから夏場に向かうと、台所から出される生ごみの腐敗が一層早くなり悪臭を放つようになります。

特に水切りをしてない生ごみは一番困ります。

「収集車に積むときに袋からごみがこぼれたり、機械で圧縮するときに水が吹き出したりして作業服に付着します。これが一番作業員泣かせですし、焼却能率も下がります。生ごみは必ず1晩水切りをして出してほしいですね」とセンターの沢田正義次長は訴えています。

ごみは必ず分別と水切りをして決められた日の当日、午前7時30分までにステーションへ出して下さい。



ごみ収集作業

～プラスチック類は～ 燃えないごみです

当市ではこれまでプラスチック類は燃えるごみとして収集していましたが、昨年から燃えないごみとして取り扱うようになり、広報56. 5. 15号でお願いしてあります。

プラスチック類は燃えるときに有毒ガスが出たり、焼却炉の中の温度が異常に高くなって炉を傷めたり、燃え残りが溶けて固まるため他のごみの焼却を悪くする——などの理由からです。

ところで、プラスチック類と一口に言ってもポリエチレン・塩化ビニ

ール・ポリスチレン・ポリプロピレンなど、数多くの種類があります。

それらを1つ1つ分類して出していくのも大変なことです。少なくともプラスチック製のシャンプーや洗濯用洗剤の容器・雨どい・波板・水道管・おもちゃ・農業用マルチ・肥料の空き袋などは、必ず燃えないごみとして出して下さい。



プラスチック類にはこんなものが



スプレー缶の底には穴をあけてガスを抜いておきます。ガス抜きをしてないと焼却炉で爆発をしたり、プレス機にかけると火を吹くので大変危険です。



出来れば生ごみは肥料として埋めるのが一番です。ステーションに出すときは、水切りをして袋の中に入れ、しっかりとしばって下さい。

大きい物は積みやすく

増えています
粗大ごみ

みです。

これらの中にはちょっと直せば使えるものや、そのままでも十分に使えるものが目立ちます。

不用になったからといってすぐに捨ててしまうのではなく、再利用の方法がないか一度考えて下さい。

生活環境課では不用品の交換を取り扱っていますので、申し込んでみるのもよいことでしょう。

粗大ごみは原則として、清掃センターへ持ち込んでいただくことになっていますが、持ち込めない人は住所と名前を書いたものを付けてステーションへ出して下さい。

特に長物や大型の物、または重い物は積みやすいように出来るだけバラしておいて下さい。

近年特に多くなってきたのが自転車・家具・畳・洗濯機・冷蔵庫・テレビ・ミシン・ベッドなどの粗大ご



まだ使える物が目立つ粗大ごみ

ステーション設置に助成



ごみの出し方が悪いと犬があさったりしますし、美観が損なわれる上、不衛生となります。特にステーションの近くの方は、他人のごみのために大変迷惑します。

市では、このようなことのないように各集落でステーションを設

けた場合には助成をします。

助成されるのは、ブロックか鉄板または、金網などで作られ、おおむね10万円以上かけられたステーションで、補助率は33%です。詳しくは清掃事務所(5-6120)へお問い合わせ下さい。

あなたのアイデアが

よく燃えます

手製の焼却炉

春日2丁目 角野 清さん

「私のところは、ずっと以前から燃えるごみは自分で燃やすようにしています。これまでごみをステーションへ出したことはないです」と角野清さん（春日2丁目、57歳）は話します。

これまで何回となくドラム缶を改造して、手製の焼却炉を作っていました。熱で鉄板が焼けてポロポロになってしまいどうしても長持ちしませんでした。

いろんな本を見て研究し、今年の

毎日毎日家庭から出るごみ。市内には、このごみを少しでも減らして処理に費やされる経費を節減しようと、いろいろ工夫をしている方があります。燃えるごみを自分で燃やし

春にはついにブロックの焼却炉を自分で作りました。

コンクリート打ちをした上にブロックを3段に積んだもので、上には鉄板で開閉が出来るごみの投入口があり、下には灰の取り出し口があります。炉の内側の中段よりやや下に金網が張っており、灰が下へ落ちるようになっており、煙突も取り付けられています。

炉の大きさは高さ80センチ、奥行き55センチ、幅60センチで、煙突の高さは90センチです。手前下の灰の取り出し口は高さ30センチ、幅40センチです。

「ごみは毎日燃やします。マッチ1本できれいに燃えてしまいますし自分のごみを自分で処理した後の気分はいいもんです。これまでの中で今度の焼却炉が一番よく燃えます。煙突がついているので火の粉も出ませんし安心です。嫁いだ娘もこの焼却炉を作ってほしいと言っているんですよ」と、奥さんはごみを燃やしながら話していました。

生ごみを土にかえそう

市消費者グループ連絡協が提唱

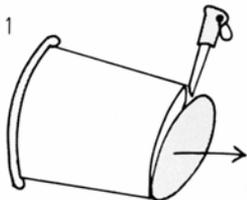
「台所から出る生ごみを土にかえずとともに、焼却場へ運ばれる量を少しでも少なくし、経費を節減しよう」と、市消費者グループ連絡協議会では、数年前から生ごみのたい肥づくり運動を進めています。

このたい肥づくりは狭い場所でも

手軽に出来ますし、1年たつと野菜や花づくりに最適の肥料になるのでとても好都合です。

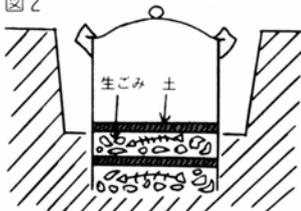
このため、市農協と上庄農協の婦人部でもこの運動に取り組もうとしています。たい肥の作り方を紹介しましょう。

図1



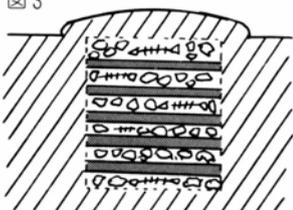
1 35～45ℓのふた付きポリ容器を用意します。図1のように、カッターかのごぎりで底部を切って底を抜きます。焼いたドライバで穴をあけて、カッターを差し込めば容易に切れます。

図2



2 庭の片隅に穴を掘り、図2のように容器を入れます。生ごみを入れたら、その上にバラバラと土をかけます。その上にまた生ごみを入れ、さらに土をかけます。これを繰り返します。4人家族では約2ヵ月分のごみを処理出来ます。

図3



3 いっぱいになったらポリ容器を引き抜き、上から土をかけ図3のようにします。ごみを入れた上から土をかけるので、ハエもわきませんし、犬や猫も荒しません。引き抜いたポリ容器は新しい穴を掘って入れ、前と同じようにします。



自慢の焼却炉でごみを燃やす奥さん

「ごみ」を少なくします

たり、生ごみを土にかえしたり、燃えないごみの再利用に取り組んだりさまざまです。ごみを無造作に出すことは税金の無駄遣いです。あなたもちょっと工夫してみてください。



集まった空き缶を整理する会員

空き缶回収し 資源再利用に

清和町婦人会が取り組む

清和町の婦人会（幅口芳枝会長、会員65人）は、資源再利用の1つとして空き缶の回収運動に取り組んでいます。

運動を始めて今年で3年目。ようやく会員にも浸透し、徐々に軌道に乗りつつあります。

最初の年はどれくらいの量が出るのか予想もつかなかったのが、実態をつかむことからスタート。町内の空き地を借り、そこへ出してもらいました。

事前に出し方を周知してあったものの、初めてのことで集まったものは、空きビン・空き缶・ダンボール類や、そのほか再生出来ないものまでがドッサリ。それを分類するだけでも大変なことでした。

回収業者も初めは引き取りをしぶっていましたが、再三足を運んでお願いした結果ようやく了承し、役員さんを喜ばせました。

ところが2年目に入ると、集まり

が悪いとか、ビンも缶も混ざっているのだからできないなどの理由から、やめたらどうかという意見が出てきました。しかし、話し合いの結果、せっかく始めたことだし何とか続けようということになりました。

2年目からは空き缶だけにしぼって、各戸へ2種類のビニール袋を配りました。1つにはアルミ缶、1つにはスチール缶を入れるためです。

毎月第3日曜日に一個所に集めましたが、アルミ缶とスチール缶が混ざるため、役員さんが再度分類することもありました。

4～11月でスチール缶390kg、アルミ缶38kgになり、4,855円の収益を上げました。

今年からは毎週日曜日に自由に出せるよう、目下、保管場所を設ける計画をしています。

役員の1人稲葉柳子さんは「私たちが何気なくごみとして出している空き缶も、ちょっと気をつければ省資源として活用出来ますし、市全体のごみ処理を考えますと、かなりの経費が節減されます。この運動が市全域に広がるよう頑張りたいですね」と話していました。

し尿のくみ取り

収集区域割り制を廃止

今年4月から、し尿くみ取りの収集区域割り制が廃止になりました。

昭和49年10月から市内を6ブロックに分けて、それぞれの担当業者が責任をもって、その区域を収集していました。この4月からは区域割り廃止になりましたので、次の6業者のうちどこへ依頼してもよいようになりました。

●こだま衛生社（高砂町10-3、6-3027） ●三番衛生社（明倫町6-26、6-2935） ●大野衛生社（東中10-1-2、5-5600） ●旭衛

生社（東中10-1-2、5-5602）

●大一衛生社（中挾1-2-1、5-3602） ●あかね衛生社（明倫町6-20、6-3938）

最近、し尿の中に薬品が入っていたり化学繊維物・雑布・危険物などが混ざっているため、機械が壊れたり処理能力に低下をきたしていますので、トイレの中にはみだりに物を入れないようにして下さい。

なお、くみ取りは4・5月や11・12月は大変混雑しますので、なるべく避けて下さい。

フレッシュマン 今日は!

この春も、多くの青年がいろいろな職場に就きました。社会人としての責任と義務を感じながら、厳しい試練に立ち向かって頑張っています。ときには壁にぶつかり、くじけそうにな



自分で造り出す魅力

泉 利昌さん (水落町)

手先に神経を集中させ、器用に溶接作業に取り組む泉さん。小さいころから機械いじりが好きで工業高校の機械科を出てT製作所に入りました。

「両親がいないので、姉にはこれまで世話をかけました」と、お姉さんをねぎらう優しい青年です。高校の3年間を通して2日しか休まなかったという、健康で意欲的な一面も持っています。

「学生時代はやっぱり甘えがあったと思います。勤め始めてからは、生活にリズムがありますし、時間も有効に使うようになりました」と、まずは社会人1年生としての自覚を語ります。

この仕事の魅力は、平たいただのステンレスの板を加工して、レンジや流し台などの高度な製品を生み出すことにあるそうです。「自分たちの手で完成品に仕上げるという“創造の喜び、があります。普通の事務や流れ作業の仕事では味わえない魅力だと思えますし、生きがいを感じます」ときっぱり。

「今は試用期間なので、早く正社員になるのが当面の目標です。先輩に負けないよう全力でぶつかっていきます」と、元気に話していました。

やりがいある福祉の仕事

谷 和子さん (篠座町)

「大学では社会福祉を専攻しました。それで、ぜひとも社会福祉関係の仕事に就きたかったんです」と、念願どおり救護施設大野荘に就職出来た谷さんはうれしさいっぱいです。

学生時代は、施設慰問などのボランティア活動をした経験もあるそうですが、「やはり第一線ともなると緊張しますね。無責任な行動は出来ないと気を引き締めています。けれども、好きで選んだ道ですから、やりがいがありますし、精神的・肉体的に充実した毎日です。入所者も私たちと同じかけがえのない人間だという原点を忘れずに頑張ります」と強い決意です。

大野荘は、身体や精神に障害があり、独立して日常生活を送れない人を対象に、生活の扶助をしています。「こういった施設入所者に対する偏見は、まだ根強いものがあると思います。好奇心や哀れみの目で見たりする人に出くわすと、本当に悲しくなります。単なる同情からではなく、同じ人間としての温かい思いやりがほしいと思います。それが真の福祉につながるのではないのでしょうか」と、熱っぽく話していました。



ることもあるでしょう。しかし持ち前の若さとファイトで、力強くたくましく成長しています。今回は新しい時代を担うフレッシュマンの中から4人に登場してもらいました。

膨らんだ胸で 頑張ってます

強く感じる社会的責任

光沢 弘さん (富 島)

光沢さんは両親がいないという逆境にもめげず福井工専を卒業してM生コン会社に就職しました。

この就職を一番喜んでくれたのはおばあちゃんだったそうです。

学生時代は拳法部けんぽうぶに入っていたほか、学生副会長も務めたというバイタリテイの持ち主です。45年生のときには、鯖江まで自宅から通学。朝は6時30分に出掛け、帰るのは10時過ぎということもしばしばでした。

5カ月前には、交通遺児育英会の海外研修生に選ばれて、25日間ブラジルへ派遣された経験もあります。

現在は生コンの試験室におり、コンクリートの強度や材料の品質などを調べるのが仕事です。「やはり学生とは違って、社会的責任を強く感じます。職場の雰囲気は明るいですし、先輩も親切に指導してくれるので楽しいです」と、顔をほころばせます。「学校の先生方をはじめ、温かく励ましてくれた人々に報いる意味でも、早く仕事を覚えて一人前になりたいと思います」と話しており、検査装置を見つめる目がキラリと輝いていました。



思いやりの心を大切に

川崎 法美さん (弥生町)

「具合はいかがですか」と、温かく呼び掛ける川崎さん。白衣の天使のイメージがぴったりです。

高校の衛生看護科を出ており、都会でほかの就職口もありましたが、習った技術を生かせるこの道を選びました。H医院に勤めています。

「学生時代よりも、生活に張りがあって楽しいです。もちろん、今はまだ仕事を覚えるのに一生懸命ですけど……」と快活に話し、仕事に対する情熱が伝わってきます。

「患者さんの命を預る仕事ですから、責任を強く感じます。そして、接し方などにも気をを使いますね。患者さんの中には自己中心的な言動をする人もありますが、いつも思いやりの気持ちを忘れずに接するよう心掛けています」と優しい心遣いを忘れません。

今月からは夜勤も始まるということで、早く一人前にと頑張っています。「だれからも信頼される看護婦になりたいと思います。結婚後も一生の仕事として続けたいです」と、希望に胸を膨らませていました。

一般車両の通行は7月から

八千代橋が完成

蕨生〜御給を結ぶ



御給から望む八千代橋

県奥越耕地事務所が54年11月から工事を進めていた、真名川に架かる八千代橋（蕨生〜御給間）がこのほど完成しました。

引き続き、両サイドの取り付け道路の舗装工事が行われるため、現在では通行出来るのは農耕車と人に限ります。一般車両が通行出来るのは、7月になる見込みです。

広域営農団地農道整備事業の一環として架け替えられたもので、全長は180.7メートルです。幅員は8.5メートルあり7メートルの車道と北側に1.5メートルの歩道が設けられています。総工事費は3億4,285万円。

開通しますと、広域的な市の発展に大いに役立ちます。

循環道路の建設急ピッチ

全長23^{キロメートル}（うち国道併用1.5^{キロメートル}）で市内を一周する循環道路の建設は48年度から県と市で進めています。

このうち、奥越耕地事務所は広域農道11.7^{キロメートル}（蕨生〜上舌間、下麻生島〜日本コンデンサー大野工場間）と一般農道4.5^{キロメートル}（上舌〜鍛掛間）

を担当。これまでに22億1,000万円を投入しており、およそ8割が出来ました。

大野土木事務所は蕨生〜土打間の3.6^{キロメートル}を担当。これまでに中休〜尚徳中学校付近間の800^{メートル}の改良が終わっています。

一方、市土木課は土打〜下麻生島間の2^{キロメートル}を担当。56年度で改良・舗装が完了しています。

北部第二土地区画整理事業

8億円で新しい街づくり

56年2月からスタートした北部第二土地区画整理事業（遠藤晃理事長）は順調に進んでいます。組合施行は駅東第二に次いで2番目です。

対象区域は清滝川、国道157号線 県道南六呂師・大野線、市道下中野堂本堤防線に囲まれた20.7^{ヘクタール}で、主に中挾地係です。幹線となる都市計画街路、中挾・美里線714^{メートル}をはじめ、縦横に伸びる区画道路4,485^{メートル}、水路1,543^{メートル}、2つの児童公園（合計6,200平方^{メートル}）が整備されます。

そのほか、清滝川沿いには5,400平方^{メートル}の市営住宅建設用地も確保してあります。

本格的な事業は昨年度から5カ年計画で行われており、60年度には整然と住宅の建ち並ぶニュータウンに生まれ変わります。総事業費は8億1,800万円が見込まれています。

これまでに1億4,878万円を投入し、物件移転を進めるとともに、街路や水路などを整えています。

56年度では、幹線の中挾・美里線204^{メートル}を開設。幅員は12^{メートル}で、両側に2.5^{メートル}の歩道が設けられます。また、区画道路228^{メートル}（幅員8^{メートル}）、水路761^{メートル}もそれぞれ整備されました。57年度以降も計画的に事業が行われ、住みよく安らぎのある街の造成が着実に進んでいます。



区画道路の開設が進む北部第二区域

郷土の偉人伝第2集発刊

北野元峰の生涯まとめる

誠実な人柄が浮き彫りに

市教育委員会はこのほど、郷土の偉人伝第2集として「ふるさとに光をかかげた北野元峰」を1,000部発刊しました。

この冊子は、郷土の身近な偉人を分かりやすく紹介して、社会科や道徳教育に生かそうと編集されたもので、市内の小・中学校に配付されました。

昨年発刊した「土に生きた尾崎琴洞」と同様、挿絵や写真も豊富に入っており、やさしい文章にまとめられています。A5判、84ページです。

北野元峰は天保13年(1842年)に楯掛の農家に生まれ、9歳で仏教界

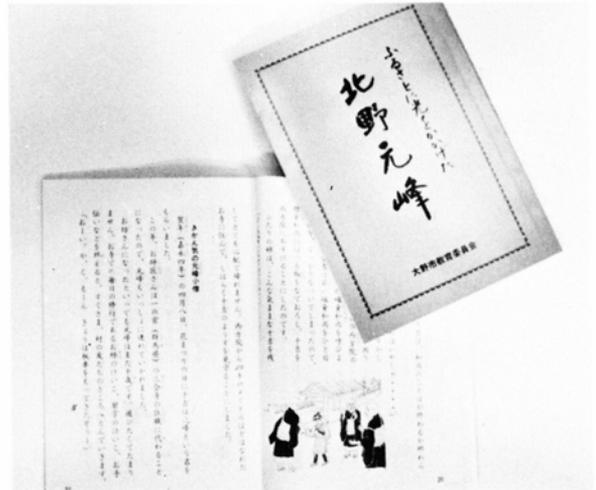
に入りました。

以来、厳しい修業を続け、大正9年(1920年)には永平寺の67代管長になった偉大な宗教家です。昭和8

年、92歳で亡くなりましたが、その間、国内をはじめ朝鮮・台湾・満州などにも渡り、精力的に布教活動をしました。

そのほか、郷土の農業用水建設にも尽力するなど、偉大な功績は今も市民に語り継がれています。

冊子には、元峰の生い立ちに始ま



学校教材として活用される北野元峰伝

り、厳しく苦しい修行ぶり、家族の深い人間愛、管長時代の功労などが物語風に書かれており、元峰の誠実で温かい人柄が浮き彫りにされています。

教育委員会では、今後も引き続き郷土の偉人伝シリーズを発刊する予定です。



⑤0 田 野

田野公民館の前に、西守弘翁の胸像があります。明治41年に大野中学校(2回卒)を出、早稲田大学商学部に学びましたが、松平慶民宮内大臣の書生をしながら苦学されました。卒業後は神戸に住み産業運輸業で活躍されました。

西氏は、白山神社の神殿・拝殿富田村戦没将兵慰霊廟、田野公民館、それに隣接する西文化センター等数多くの寄付をされました。

また、将来の人材を育成するために、私財を投じて財団法人西育英会を設立しました。数年前に故人となれましたが、今年度も約1億円の基金で大学生40人(月額9,000円、返還不要)高校生20人(月額4,000円)が奨学生の恩恵に浴しています。



上野から井ノ口の方へ農免道路を進むと、間もなく右手に薄茶色の変った屋根が見えます。南正雄氏(市教育委員)の住宅で、この集落が田野です。

村に入ると、いくつかの立派な墓が目につきます。ひとりの老婆が、戦死した長男の墓の草取りをしていましたが、土蔵には胸部に受けた弾丸の穴のあいた軍服がしまっておりとのことでした。

田野から土官学校へ行った三羽ガラスのことも自慢のようでしたが、その墓と背中合わせに、西氏の戦没された三男守久氏の墓がありました。(T生)

カラー写真も豊富

観光ガイドブック出来る

市観光協会(会長川崎市長、会員30人)はこのほど、市内の見所をまとめたミニガイドブックを4,000部作りしました。

これまで、市商工観光課が作った観光パンフレットはありましたが、詳しく冊子にまとめたのは今回が初めてです。

A5判、24ページで、カラー写真37点、イラスト15点が用いられており分かりやすくまとめてあります。

市街地マップや主な観光地の写真があるほか、スキー場・山岳・市内旅館の案内も載せてあります。

また、民話・民謡・方言・土産品特産品も紹介されており、大野の魅力がよく表わされています。

市内の旅館・土産品店・観光案内所に置くほか、県の東京・大阪事務所や旅行者にも送る予定です。

ありがとう 母子保健推進員さん

加藤あや子さんの場合



「赤ちゃん元気ですか?」と、優しく声を掛けるのは加藤あや子さん(稲郷)です。市が委嘱している「母子保健推進員」の1人で、この仕事を引き受けて3年目になります。

きょうは村中ひとみさんと長男の智和君(3カ月)を訪ねました。これまでも何回か訪問しており、すっかりなじみです。すぐに育児談議が始まりました。

「初めての赤ちゃんで不安がいっぱいだったんですけど、いろいろと相談出来て喜んでます。身近な相談相手として、信頼しています」とお母さんのひとみさん。

加藤さんは自らも9歳と5歳の母親です。「初めのところは検診のお知らせを配るくらいでした。でも、次第に訪問先の赤ちゃんの成長を見るのが楽しみになって……。研修会で

学んだことや自分の体験などをお話しています。今の母子保健は恵まれていると思います。けれども、何事も育児書どおりでないとか心配な人や逆に2人目、3人目の赤ちゃんになると慣れ過ぎて検診をすっかり忘れ

るという人もあるようです。ささやかな活動ですけど、これからも頑張ります」と、話していました。

若いお母さんと赤ちゃんを気遣い地域に根づいたボランティア活動を続ける母子保健推進員さん。きょうもあすも、優しい声が聞かれることでしょう。

あなたの地区の 推進員です

市はこのほど、57年度の母子保健推進員に39人を委嘱しました。

妊産婦や乳幼児のいる家庭を訪問し、検診の通知書を配ったり、妊娠や育児に関するいろいろな心配ごとの相談に応じるなどの活動をしていただきます。敬称略()は担当地区。

今西英子(有明・幸・弥生町) 中川文子(美川・月美町) 宮沢はるえ(清和・中挾町)

海野あ江子(吉野美里町) 田中秀子(高砂・糸魚町)

池端政子(新庄・天神町) 尾崎美子(水落・要・城北町)

鳥山としを(春日1・2丁目) 酒井和子(春日3丁目) 松田定子(中野町1・2丁目)

面屋令子(友江・

若里) 野尻あき子(横枕・新在家)

齊藤志づ子(中保・中挾) 田中キヨ子(陽明・中荒井町) 明石あつ子(中津川) 松田信子(矢・西市)

加藤美智子(木本) 源内律子(森山・西山) 加藤あや子(稲郷・上据) 田口おりを(友兼・開発) 長田泰子(中据・猪島)

堂本清子(五条方・平沢今井) 米村慶子(下据) 帰山よしの(木落・蔵生) 松原明美(七板・土打・上野)

松田典子(富島・新田・森目・土布子・新河原) 土田丸美(川上・麻生島) 岩田美子(不動堂・松丸)

後川ちづ子(大月・御領・橋爪石谷) 宮崎敬子(伏石) 山川邦子(柿ヶ島・八町・森本) 岩本すゑの(南六呂師) 福田よしえ(花山・犬山)

中村啓子(坂戸・大門) 長谷川なみ(尾永見) 奥村律子(下丁) 江波洋子(上荒井・深井) 篠原満里子(阿難祖領家・地頭方)

松井とよい(下舌下1・2)



大森助役から委嘱状を受け取る推進員

お知らせ

◆ 難病見舞金と療養費申請窓口が一部変更

健康管理センターの完成に伴って保険衛生課が本庁からセンター内に配置換えになったため、これまで同課で行っていた手続きの一部が次のように変わりました。

①国民健康保険の高額療養費と一般療養費支給の申請は、市民課でも出来るようになり②難病見舞金給付申請の受け付けは、福祉事務所でも出来るようになりました。

◆ 勤労青少年ホームの講座

勤労青少年ホームでは、今年も30歳以下の勤労青少年を対象に、次のように「趣味と教養講座」を開きます。参加希望の方は5月10日までに同ホーム（5-7221）へ申し込んで下さい。

コース	曜日	回数	定員
料理	月	12	40人
生け花	火	12	25
エチケット	水	12	20
卓球	木	15	30
きもの着付け	木	7	20
社交ダンス	金	14	30
囲碁	土	12	20

◆ 食生活改善推進員の養成講座

市民の栄養改善思想の向上と調理技術の普及を図るため、市では食生活改善推進員を委嘱しています。こ

スマイル

『空き缶ポイ捨て』

私もカンカンに怒っています
—— 缶

豊かな知識を後世に

高齢者の人材求めています

市教育委員会では昨年に引き続き、高齢者人材活用事業の参加者を募集しています。

現在、40人近くの方々が登録されており、しめ縄作りやゲートボールの指導から習字・絵・子供会PTAの講師など、多方面にわたって活躍しており大変喜ばれています。

参加資格は市内に住んでいる60歳以上の方で、生活の話・大野の歴史・伝説・伝承文化・健康増進

青少年育成・料理・生け花・園芸・絵画・工芸・ゲーム・スポーツなどについて、自分の得意とする分野のある人です。

申し込みをして登録されますと、教育委員会の要請によって指導者・助言者として活動していただきます。経験深い知識や特技を後世に伝えることは大切なことです。参加ご希望の方は5月末日までに市教育委員会社会教育課（5-7350）または、各公民館へ申し込んで下さい。

の推進員を養成するため次のとおり講座を開きます。奮って応募下さい。

〈期間〉6月上旬～来年3月上旬

〈会場〉大野保健所

〈対象〉市内に在住の主婦ならなたでも参加出来ます

〈内容〉公衆衛生・栄養・保健・食品・調理実習(12回・72時間)

〈講師〉保健所長・栄養士・保健婦ほか

〈申し込み方法〉5月20日(木)までに保険衛生課(5-7333)へどうぞ

今年委嘱された推進員は次の方々です。敬称略()は住所。

長谷川なみ(牛ヶ原) 小島昌子(柿ヶ島) 山本早苗(松丸) 桜田利子(金山) 安川三重子(中荒井1) 古川君子(春日2) 海野かず子(天神町) 竹田みさを(中保) 和田末子(中挟) 広瀬敏子(中野) 常見洋子(上野) 遠藤恵美子(春日1) 村上田鶴子(南新在家) 瀬古きよ子(新町) 川田芳江(開発)

◆ 消費生活モニターにご意見を

57年度の市消費生活モニターに次の方々も委嘱されました。

モニターは消費生活の苦情や要望などを聞いて、行政へ反映させる役割をします。あなたの意見を近くのモニターへお寄せ下さい。・印は県

モニター兼任です。(敬称略)

木瀬富美子(元町) 奥村かをる(高砂町)・林彰子(清和町)・米村恵美子(春日1)・面屋令子(友江)・正津なみ子(菖蒲池) 土本けい子(庄林) 宇野幸子(下丁)・寺本由美子(牛ヶ原) 高津澄子(上舌)・堂本きよ子(五条方) 長田泰子(中据) 細川淳子(下唯野) 松田絹子(森目) 山川邦子(柿ヶ島)

◆ 11・12日にダム管理演習

建設省九頭竜川ダム統合管理事務所をはじめ、福井県・北陸電力(株) 電源開発(株)・関西電力(株)の各ダム管理事務所では、九頭竜川・真名川上流の各ダムで11・12日、ダム管理演習を行います。

演習が行われるのは九頭竜川筋の九頭竜ダム・鷲ダム・仏原ダム・下荒井ダムと、真名川筋の笹生川ダム真名川ダムで、午前9時～午後5時です。

両日は両河川筋に設置されている警報用のサイレンやスピーカーが鳴りますが、洪水を想定してのダムゲートの操作などの模擬訓練ですから実際にダムからの放流はしません。

当日、大雨洪水注意報が出されているときや、出水によって各ダムがゲート放流を既に行っている場合は演習が中止となります。

